

平成28年度 あきたスマートカレッジ (報告)

Bあきた教養講座

B24～26：クオリティ・オブ・ライフ ＜安全・安心 パッケージ＞

会場：秋田県生涯学習センター4階 第1研修室ほか

【趣旨】「今を生きる」「これから生きていく」「豊かな人生」をキーワードに、ジャンルごと3～4コマをパッケージ化した講座です。正しい知識や教養を身につけて“クオリティ・オブ・ライフ”(=生活や人生の質)について考えるきっかけにしてみませんか？パッケージ単位での受講をおすすめしますが、1コマから受講することもできます。

講座記号	期 日	テーマ	講 師	参加者数
B24	9月3日 (土)	高齢歩行者はなぜ交通事故に遭いやすいのか？ ～ヒトの認知の落とし穴～	秋田大学大学院理工学研究科 教授 水戸部 一孝 氏	23
B25	8月20日 (土)	正しく知って暮らしを守る ～消費者トラブルの予防・対処～	秋田市市民相談センター 消費生活相談員 小玉 順子 氏	15
B26	8月27日 (土)	地震や津波から身を守る安全な暮らし ～防災意識を高めよう～	秋田大学地方創生センター 准教授 鎌滝 孝信 氏	17
合計				55名

※B24講座は、都合により開講期日を年度途中に変更しました。

ここでは、1回目の講座について報告します。

「生体工学」がご専門で秋田大学大学院理工学研究科教授の水戸部一孝氏から、認知力が交通事故に及ぼす影響について講義をしていただきました。先生は、人間の視覚認知機能の特徴として、「“見えていないこと”に気づけないこと」や「注意を向けたところだけ良く見える構造になっていること」を挙げられ、「人間は必ずミスをする構造になっているのであり、周囲を認知する際に歩行者とドライバー双方のミスが重なると事故が発生する」と指摘されました。先生は、このような分析をもとに、歩行者が事故に遭いやすい状況をスクリーンに再現し道路横断の



体験ができる「歩行環境シミュレータ」を開発されました。この装置は、秋田県警の交通安全教育車などで活用されており、本講座でも受講者に実際に体験してもらいました。横断の際に右側から来る車ばかりを気にしている様子がモニターに映し出され、受講者は「意識的に左側に注意を向ける必要があること」や「手前の車線よりも奥の車線に入る前の安全確認が重要であること」などについて理解を深めていました。秋田県警のご協力もいただきました。